

COMPASS 多良見

討議日：令和5年9月21日

公表日：令和6年5月24日

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースの関係で適切である	6		個々の特性や療育内容に応じてパーテーションや机、学習棚を移動させ効果的に空間を利用しております。	
	2 職員の配置数は適切である	6		職員は法令の定めた基準を満たして配置され、常勤は全員有資格者で構成されております。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6		個別・集団・療育の内容にあわせパーテーションなどでスペースをわかりやすく区切るなど構造には工夫を凝らしております。 また、ほとんどバリアフリーの空間ですが行き来する際にも通りやすさを意識して配置をしております。	
業務改善	4 業務改善を進めるためPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6		全員参加での業務改善の会議に定期的に取り組んでおります。 また、議事録を作成し次回の振り返りとしても活用しております。	
	5 保護者様向け評価表を活用するなどによりアンケート調査を実施して保護者様の意向等を把握し、業務改善につなげている	6		今回のアンケートを基に改善に向けた対応で業務改善に繋げてまいります。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報や公式Webサイト等で公開している	6		COMPASS発達支援センター公式Webサイトにて公開しております。	今後も公式Webサイトで公開してまいります。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		6	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	8 職員の資質の向上を行つたために、研修の機会を確保している	6		法人で編集した職員研修の動画コンテンツをもとに事業所内で研修を実施をしております。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、児童と保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6		定期的にアセスメントを実施し、保護者様や児童のニーズを探り、また相談支援専門員や関係機関と連携して客観的な視点から計画を立案しております。	
	10 児童の適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6		児童の状況把握をする際には法人で整備統一されたアセスメントツールを利用してあります。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	6		個別・小集団の支援を多角的に組みあわせるため、それぞれの専門職がチームとなり立案しております。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		活動プログラム終了後に毎回振り返り、評価する時間を設けており、内容の見直しを行う等、固定化しないよう工夫をしております。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6		平日・休日・長期休暇に応じて、単調な内容にならないように配慮し、療育や、活動内容に変化をもたせて必要な課題を細やかに設定しております。	
	14 児童の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	6		児童の状況に応じた個別・集団の活動を適切に組みあわせた個別支援計画を作成しております。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		前回の支援の振り返りをおこない、各児童の課題と役割分担を確認しております。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		前回の支援の振り返りをおこない、各児童の課題と役割分担を確認しております。	
	17 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		毎日支援記録を取り、検証・改善は職員間で活発に意見交換し支援につなげるようにしております。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6		定期的にモニタリングで保護者様からの聞き取りをし、計画に見直しが必要か判断できるようにしております。	
関係機関や保護者様との連携	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	6		ガイドラインの総則の基本活動を複数組みあわせるとともに、保護者様との面談をしっかりとおこない、支援をおこなっております。	
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその児童の状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		対象児童の状況を理解し説明できる最もふさわしい職員が参画しております。	
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、児童の下校時間の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	6		担任や校長先生・教頭先生とも情報共有できるように努めています。 通常の連絡調整に加え、小さなことでも相談し合えるように常に連携を図っております。	
	22 医療的ケアが必要な児童を受け入れる場合は、児童の主治医等と連絡体制を整えている		6	現在医療的ケアが必要な児童は在籍しておりません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあります。今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6		就学前に利用していた保育所・幼稚園等とは必要に応じて情報共有できるように体制を整えており、支援が途切れないように努めています。	
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		6	現在、対象の児童は在籍しておらず、情報提供には至っておりません。	今後、利用児童が該当する状況となった場合は、必要に応じて支援内容等の情報を適切に提供できるよう、書面や連絡体制等を整えてまいります。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	1	今年度から研修の機会があり、研修を受けております。	全ての職員が積極的に受講できるよう調整をしてまいります。
保護者様への説明責任等	26 放課後児童クラブや児童館との交流など外部との活動する機会がある		6	外部との活動の機会はありませんでした。	
	27 （自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	5	今年度は参加機会がありませんでした。	研修や講義等に積極的に参加し、能力向上に努めています。
	28 日頃から児童の状況を保護者様と伝え合い、児童の発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		送迎時にはご自宅でのようすや、他の利用機関での状況の聞きとりをするとともに、連絡帳や口頭で事業所でのようすを詳細にお伝えしております。 ご家庭との連携を図り、児童の課題・目標については共有理解ができると考えております。	
	29 保護者様の対応力の向上を図る観点から、保護者様に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング等）の支援を行っている	6		ペアレンツトレーニングを明記しておりませんが、送迎時や担当者会議時など、あらゆる場面でできる限り保護者様からの相談に応じ、児童との関わりかたなどへの助言や支援に努めています。	
	30 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		契約時、重要事項説明書・利用契約書を通して詳しく説明をおこなっております。 またご不明な点がないか確認をしております。	
非常時の対応	31 保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		半年に一度のモニタリング時などに定期的にご相談やお悩みごとをお聞きし、送迎時や電話、あるいは事業所に来所された際などあらゆる場面においてご相談に応じ、具体的な助言と支援に努めています。	
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催したりするなどにより、保護者様同士の連携を支援している		6	保護者様から父母の会発足や開催についてのご要望をうかがいながら検討を行ってまいります。	
	33 児童や保護者様からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6		相談や申し入れについて対応の体制を整備し、保護者様へお知らせしております。 また迅速に対応できるよう努めています。	
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を児童や保護者様に対して発信している	6		季節ごとに発行されるCOMPASSだよりや毎月のカレンダーにて事業所のようすや連絡体制についてお知らせしております。 また、行事についてはその都度お手紙でお伝えしております。	
	35 個人情報の取扱いに十分注意している	6		個人情報については書類を鍵付き書庫にて管理しております。 閲覧後は速やかに書庫に返却し、情報の載った使用後のプリントは同じく鍵付きの棚に保管後シュレッダーで破棄するよう管理しております。 ブログでの写真掲載でも保護者様に書面にて同意をいただくよう配慮しております。	
	36 障がいのある児童や保護者様との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		児童には特性や状況に応じた伝達の方法を選択し、保護者様とは口頭や電話だけでは難しい場合には書面にて、またその逆の場合は口頭や電話で、説明する際に伝達方法を配慮しております。	
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		6	地域の方を交えての交流機会は企画できておりません。	保護者様のご意向を踏まえたうえで、必要に応じ交流の機会を模索してまいります。
	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者様に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6		緊急時対応マニュアル等の策定をしており、訓練も実施していることをお伝えしております。	
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		非常時を想定した年間計画を策定し訓練を実施しております。	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		事業所内で虐待に関する勉強会を実施し、虐待防止に全職員で取り組んでおります。	
非常時の対応	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行なうについて、組織的に決定し、児童や保護者様に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6		利用契約書に身体拘束の禁止を記載しており、生命、または身体を保護するためにやむを得ず身体拘束をおこなう場合には、あらかじめ文書により保護者様の同意を得るようにしております。	
	42 食物アレルギーのある児童について、医師の指示書に基づく対応がされている	6		アレルギーについては初回のアセスメントの際に必ず聞き取りをおこない、全職員へ周知しております。	
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		ヒヤリハットの記録をおこない、全職員で共有し、対応策を協議しております。	

令和
5年
年度

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。